

会 議 録

会 議 名	第 2 4 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 6 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 月 1 0 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	小野寺委員 荻込委員 岸川委員 花淵委員 宗像委員 山本委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	若藤係長 倉澤主任 笈本主事 長堀主事 加藤非常勤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 事業の報告</p> <p>(1) 市民講座「元気な歌声で小金井を明るくしよう 2」について</p> <p>2 事業の計画</p> <p>(1)平成 2 9 年度「シルバー大学」について</p> <p>(2)平成 2 9 年度「生きがい広場」について</p> <p>(3)成人学校「親子で作るひな祭りアレンジ」について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 三者合同研修会について</p> <p>(2)平成 2 9 年度事業の担当者決めについて</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 市民講座「元気な歌声で小金井を明るくしよう 2」報告資料</p> <p>(2) 「シルバー大学」実施要項 (案)</p> <p>(3) 高齢者学級「生きがい広場」日程表 (案)</p> <p>(4) 成人学校「親子で作るひな祭りアレンジ」チラシ</p> <p>(5) 三者合同研修会の開催について (通知)</p> <p>(6) 平成 2 9 年度公民館本館主催事業企画運営予定表 (案)</p>		

(要点筆記)

司会：宗像委員

1 事業の報告

(1)市民講座「元気な歌声で小金井を明るくしよう2」について

加藤非常勤 今年度2回目の開催。今回も応募が定員を超え、うち1/3は初参加の方で、相変わらず人気は衰えていない。自主グループ化も呼びかけたが、平均年齢が76.4歳と高齢であることから、難しいと思われる。

今年度初めに、自主グループ化を呼びかけ、来年度以降は講座をなくすという話も出ていたが、毎回楽しみにしている受講者が多く、次回以降の開催も熱望されているため、来年度継続することも検討したい。

小野寺委員 みなさん楽しみに来られていた。ずっと続けたほうがよい。

岸川委員 参加者の表情が明るかった。いい企画だと思う。喫茶準備は手間取っていたので改善が必要。

加藤非常勤 喫茶は依頼先の担当者が変わって初めての方だったので、手間取ってしまった。

花淵委員 自主グループ化は年齢の問題もあり難しいと思う。

2 事業の計画

(1)平成29年度「シルバー大学」について

長堀主事 実施要項の案をお配りした。ポイントは3点、①前期、後期の2期制で行う。②会場は前原暫定集会施設で行う。理由は、本館の部屋を十数回使用してしまうことによる利用団体への圧迫は極力控えなければいけない、ということと、参加者の多数から今年度の会場が良かったという意見をいただいたこと。③前原暫定集会施設の長期利用予約の関係で、日程は決定済みである。

1/25より準備会を開始する。①～③の内容を前提として、この枠組みについては準備会で承認していただく、という形になる。講座の目的については、来年度より高齢者から外れることに伴い変更した。

山本委員 講座の目的は具体的にどのように変更されたのか。

長堀主事 今年度までは、「高齢化社会を見据えて・高齢者の生きがい作り」といった文言が入っていたが、来年度からは年齢要件もなくなるのでそれを削除した。

花淵委員 来年度からの変更点である、「60歳以下も受講できる」「他の高齢者学級と重複申込みもできる」旨は明記した方がよい。

岸川委員 「シルバー大学」という名前なので、高齢者の講座だと思ってしまう。参加者に分りやすいよう、明記した方がよい。

荻込委員 今まで「重複不可」と明記していたのだから、変更する場合は「重複できる」ことも明記すべき。問合せも減らせる。

長堀主事 準備会でも意見を聞き、チラシ等のお知らせには載せる方向で検討する。市報は紙面の都合もあるので調整する。前期、後期の内容は基本的に同一内容とし、重複申込みは不可、前期の募集の際に、後期も募集予定があることを明記する。

(2)平成29年度「生きがい広場」について

倉澤主任 別紙のとおり日程表(案)をお配りした。先日行った準備会で出た意見や今

年度の講座の満足度アンケート等をもとに検討した。

変更点は、特に希望が多かった「みんなで料理」を復活させ、全17回とすること。緑分館の家事实習室の使用は、利用団体を圧迫するという理由から今年度は料理を中止としたが、生きがい広場を開催する月曜日は、家事实習室を利用している団体が少ないことが分ったため、来年度は行うこととする。

また、班ごとの活動を増やしてほしいとの意見が多かったので、野外研修での班別行動や、工作などの講座も取り入れる予定である。

司 会 今年度は担当企画実行委員が2名と少なく、職員の方が大変そうだったので、最低4名は担当してほしい。野外研修の班別行動も各班に1人は付き添う必要がある。

山本委員 お楽しみの内容ばかりでなく、「高齢者の学び」も意識して調整してほしい。

(3)成人学校について

加藤非常勤 「親子で作るひな祭りアレンジ」について、別紙のとおりチラシをお配りした。市内学童保育所と児童館にも配付した。作る作品は写真のとおりで、玄関などに飾るのにちょうど良い大きさ。

「湧水探訪2」について、3/27(月)に実施予定(予備日29日)。歩くのは神田川流域で目白駅から出発する。桜の時期に合わせて実施する。

3 その他

(1)三者合同研修会について

若藤係長 今年度は貫井南分館が担当。都合により講師が変更となった。例年はグループワークも行っていたが、今回は座学のみを予定。今のところ本館の企画実行委員の皆さんは全員出席ということでご報告させていただいている。

(2)成29年度の事業計画について

若藤係長 別紙のとおり本館主催事業企画運営予定表(案)をお配りした。来年度の予算は全体としては増減なし。生きがい広場が高齢者学級に戻り、シルバー大学は単独の予算項目となった。来年度の講座企画の参考としていただきたい。

保育予算がついている講座は、子どもの人権講座、市民講座、市民のための自主講座の3講座。講座への子育て世代の参加を促すため、保育予算については引き続き要求していく。

長堀主事 成人大学については、4月中に担当部署に依頼する。テーマと講師を絞って依頼したいため、2月の会議でテーマの案を出し合っていたきたい。できれば3月の会議には決定したい。開催時期は講師の都合に合わせる。

荻込委員 市民講座「ハッピーママ力向上講座」の申込状況はいかがか？

倉澤主任 応募20名に対し、同程度の申込みがある。全回参加する方ばかりではないので、席にはまだ余裕がある。ただ保育枠はすぐに埋まってしまい締め切った。保育定員を超えてしまい、お断りせざるをえない方もいたので残念である。保育なしでも参加可能な方については、引き続き募集する。

山本委員 保育予算は流動的に使えないのか。

若藤係長 市民講座と市民が作る自主講座(一般)の間ではやり取りはできるが、今年度は自主講座の方も上限を使い切る見込みなので、市民講座へ回す分はない。

筈本主事 今年度は保育付き講座の申込みが多かったが、来年度はどうなるか分らず予

想が難しい。一定年数かけてのデータ取りも重要。

司 会 今回保育付き講座に多くのお申込みがあったということは、皆さん待ってたということだと思う。参加者が何に興味関心があるのかアンケートを取り、来年度につなげられると良い。

(平成29年度事業担当企画実行委員決定)

- ①子どもの人権講座・・・小野寺・苅込
- ②シルバー大学・・・小野寺・岸川・花淵
- ③成人大学・・・岸川・花淵・宗像・山本
- ④生きがい広場・・・全員
- ⑤菜園教室・・・苅込・宗像・山本
- ⑥市民映画会・・・花淵・宗像

※その他の事業の担当者は、テーマ、日程等が決まってから決定する。

次回会議：2月7日（火）午前10時～ 公民館本館学習室Aにて